

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点1 行政との連携や働きかけ

【取組】

- ・桜川市教育委員会と市校長会の連携と協働
- ・伝達型の出張は極力、オンライン開催
- ・ICT支援員の配置が始まり、授業でのタブレット利用が更に加速
- ・通知票配付が年2回となり、授業づくりや生徒指導などに時間を多く使うことができるようになった。

【意見】

- ・「感染症対策」、「働き方改革」について各学校で多種多様な取り組みを行っている。
(出尽くした感じがある。) さらに働き方改革を推進するには大きく制度を変更するなど行政や地域の強力な後押しが必要である。

視点2 自校での取組

【取組】

- ・運動会運営の見直し…生徒の主体性を更にもたせた係活動、PTA競技の縮減や廃止、半日での開催、保護者の参観を交代制で実施
- ・ICTを活用した集会活動…リモートでの実施により密集を回避
- ・Google formを活用した保護者からの欠席連絡システム・相談受付システム、生徒からの悩み事等の相談受付システムの運用

【意見】

- ・週2回5時間の授業日の設定…授業時数(1015時間等)を下回らないように教育課程を編成していくが感染症拡大防止の為の緊急事態宣言、自然災害等による臨時休校などを考えたときに現在のままでは対応が困難(オンライン学習に頼るのも限界がある。)
- ・部活動で2人体制(交代制)が取り上げられるが、
①夏場の部活動を単独指導で生徒の安全(熱中症への備えなど)が保たれるか。
②部活動の再編をしようとするが保護者・地域の意見など合意形成が難しい。

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・不登校生徒の支援に更に効果の上がるオンライン学習利用法の開発⇒緊急事態宣言時でオンライン学習を実施したときに、不登校生徒が参加する場面が多く各学校で見られた。
- ・行事等の見直し⇒感染症予防対策として(学校の内外での)行事の精選化を実施したが、通常の生活が戻っても働き方改革の視点を保ち、再び従来型に戻らない取組
- ・部活動複数顧問制(交代制)の確立、部活動指導員の更なる拡充と地域スポーツクラブ化の推進